

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社吉寿屋摂津第1流通センター	階数	地上3F
建設地	大阪府摂津市鳥飼中3丁目190番	構造	S造
用途地域	準工業地域 準防火地域	平均居住人員	40人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年6月 予定	評価の実施日	2012年11月14日
敷地面積	2,321 m ²	作成者	林靖彦
建築面積	1,392 m ²	確認日	2012年11月22日
延床面積	3,815 m ²	確認者	林靖彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 88%
 ③上記+②以外の 88%
 ④上記+ 88%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 ・使い良 ・高い耐久 ・省エ 性が高い断熱性 ネルギーにより、環境に配慮した流通センターとする。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における 廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物 自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮 の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・断熱性 能を向上させ、快適な室内環境を確保する。 ・中庭を設け、全ての室に採光と換気を確保する。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・室内のゆ とりを配慮した ・お客様と従業員の為に喫煙室とデンタル室、待合室、食	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・屋上に芝 テラス緑化を計画 ・中庭に緑化を計画
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・照明器具全てLEDを採用 ・外部開口部のガラスは、全てLow-Eガラスのペアガラスを採用	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・便器等 の設備機器に節水型を採用 ・水栓は自動水栓を採用	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ・光害対 策(漏れ光の少ない照明器具の採用)

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	株式会社 吉寿屋摂津第1流通センター新築工事		
	建設地	大阪府摂津市鳥飼中3丁目190番		
	用途/区分	工場 事務所		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】

省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
	項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.4	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊	3	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
	項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他					
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項		外部仕上げは、耐久性のある材料を選択する。来客者の為の待合いスペース、喫煙室を確保、従業員の為の喫煙室、ロッカールーム、デンタル室(歯磨き)食堂、緑化した屋上テラス、ゆったりした化粧コーナーを設けたトイレスペースなどを考慮した建物になっています。			